

ふたばこども園

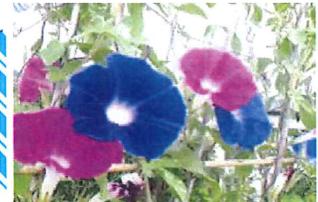
園だより 7月号

令和2年7月1日発行

文責園長 納富博文

ふたばっ子

※園だより「ふたばっ子」はホームページでもご覧いただけます。



あさがお

一学期最後の月になりました

令和2年度の新学期は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大対策のための休園及び家庭内保育で始まった学期でした。今のところ、感染症が少し落ち着いている状態で、園生活は行事等の自粛はあるものの、通常どおりに行えています。このまま、一学期の終業式（7月31日）を迎えたらいいなあと思っています。

ただ、新型コロナウイルス感染症は消滅したわけではなく、世界中をみると日々感染者数が更新され、増え続けています。特効薬もまだ開発されていません。専門家によると、日本も第2波・第3波に備える必要があると警告しています。

これからも、気を緩めることなく、新型コロナウイルス感染症への対応や対策を続け、子どもたちの命や健康を守りたいと思います。

大人が、「うつらない・うつさない」をしっかり意識し、感染症に対応していきましょう。

「田植えと小動物とのふれあい」体験ができました（年長）

新型コロナウイルス感染症の流行のため、今年度は田植えと小動物とのふれあい体験はできないかも知れないと思っていたのですが、佐賀農業高校のご好意で実施することができました。

6月11日は雨天で心配しましたが、翌12日は田植え日和となり、年長組の3組とも体験ができました。コロナのためにいろいろな行事等が中止になったり、自粛したりする中で、とてもありがたく、子どもたちにとっては楽しく、貴重な体験ができたと思います。佐賀農業高校の先生方や生徒さんたちに心より感謝するばかりです。

秋には、田植えをした稲の収穫を行います。よい天気になって欲しいと願っています。



今年度のプール設置は中止します

今年の夏も暑くなりそうです。園庭では、すでに水遊びを楽しむ子どもたちの歓喜の声が響いています。しかしながら、佐賀市内の小中学校をはじめ多くの市町の学校では、新型コロナウイルス感染症対応のためプール学習を中止したり、自粛したりしています。園でもいろいろ協議を行い、残念ながら、今年度は大型プールを設置しての水遊びは自粛することに決めました。

どうしても「3密」状態を作りやすく、文科省や厚労省等からのプールに関する注意文書を遵守したり、維持したりすることができないと判断しました。

でも、小さなプールやたらいを使ったり、水道からの噴射などを行ったり、いろいろ工夫をしながら、また、感染症対策を行いながら、水遊びを行うことにしています。ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

先生方の勉強会・園内研修にご理解を！

ふたばこども園では、子どもを中心とした質の高い教育・保育や最先端の教育・保育を子どもたちに提供できるように、園内外での研修に力を入れたり、指導力の向上のための勉強会を定期的に行ったりしています。

今年度も、研究保育やドキュメンテーション研修など、先生方が教育・保育の実践を通して、子どもの読み取りや環境構成の在り方などの勉強を行っています。また、たくさんの講師（大学や短大の先生）を招いて、御講演を聴きながら、研鑽を積むようにしています。

ただ、全員が一同に会しての勉強会などの時には、延長のお預かりができない場合があります。早めにお知らせをしますので、どうぞご理解とご協力を願いします。

お知らせ

年長組にお孫さんがいらっしゃる、竹下製菓の竹下敏昭・由紀子様ご夫妻から、コロナにも負けないでがんばっている園にお世話になったお礼として多額の寄付を頂きました。心よりお礼申し上げます。

頂いた寄付は、図書や遊具など子どもたちが喜ぶものに使わせていただきます。